

1. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+6$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=-3a_n$
(3) $a_1=3, a_{n+1}-a_n=1$ (4) $a_1=3, 2a_{n+1}=a_n$

2. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=-1, a_{n+1}=a_n+4n-1$ (2) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+n^2$
(3) $a_1=4, a_{n+1}=a_n+5^n$

3. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=10, a_{n+1}=a_n-8$ (2) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+\left(\frac{1}{2}\right)^n$
(3) $a_1=2, a_{n+1}=a_n+2n+2n^2$

4. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(1) $a_1=1, a_{n+1}=2a_n-3$

(2) $a_1=1, 2a_{n+1}-a_n+2=0$

5. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

(1) $a_1=5, a_{n+1}=3a_n-4$

(3) $a_1=1, a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$

(2) $a_1=2, a_{n+1}=9-2a_n$

(4) $a_1=1, a_{n+1}=4a_n+1$

6. $a_1=-1, a_{n+1}=-3a_n+8$ によって定まる数列 $\{a_n\}$ について

(1) 一般項 a_n を n の式で表せ。

(2) $\sum_{k=1}^n a_k$ を求めよ。

1. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+6$ (2) $a_1=2, a_{n+1}=-3a_n$
 (3) $a_1=3, a_{n+1}-a_n=1$ (4) $a_1=3, 2a_{n+1}=a_n$

解答 (1) $a_n=6n-5$ (2) $a_n=2 \cdot (-3)^{n-1}$ (3) $a_n=n+2$
 (4) $a_n=3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

解説

(1) $a_{n+1}=a_n+6$ から $a_{n+1}-a_n=6$

よって、数列 $\{a_n\}$ は初項1、公差6の等差数列である。

したがって、一般項は $a_n=1+(n-1) \times 6$ すなわち $a_n=6n-5$

(2) 数列 $\{a_n\}$ は初項2、公比-3の等比数列である。

したがって、一般項は $a_n=2 \cdot (-3)^{n-1}$

(3) 数列 $\{a_n\}$ は初項3、公差1の等差数列である。

したがって、一般項は $a_n=3+(n-1) \times 1$ すなわち $a_n=n+2$

(4) $2a_{n+1}=a_n$ から $a_{n+1}=\frac{1}{2}a_n$

よって、数列 $\{a_n\}$ は初項3、公比 $\frac{1}{2}$ の等比数列である。

したがって、一般項は $a_n=3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

2. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=-1, a_{n+1}=a_n+4n-1$ (2) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+n^2$
 (3) $a_1=4, a_{n+1}=a_n+5^n$

解答 (1) $a_n=2n^2-3n$ (2) $a_n=\frac{1}{6}(2n^3-3n^2+n+6)$ (3) $a_n=\frac{5^n+11}{4}$

解説

(1) $a_{n+1}=a_n+4n-1$ から $a_{n+1}-a_n=4n-1$

よって、数列 $\{a_n\}$ の階差数列の一般項は $4n-1$ である。

n≥2 のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (4k-1) = -1 + 4 \sum_{k=1}^{n-1} k - \sum_{k=1}^{n-1} 1 \\ &= -1 + 4 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n - (n-1) = 2n^2 - 3n \end{aligned}$$

この式に $n=1$ を代入すると、 $a_1=2 \cdot 1^2 - 3 \cdot 1 = -1$ となるから、 $n=1$ のときも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=2n^2-3n$

(2) $a_{n+1}=a_n+n^2$ から $a_{n+1}-a_n=n^2$

よって、数列 $\{a_n\}$ の階差数列の一般項は n^2 である。

n≥2 のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} k^2 = 1 + \frac{1}{6} (n-1)n(2n-1) \\ &= \frac{1}{6} (2n^3 - 3n^2 + n + 6) \end{aligned}$$

この式に $n=1$ を代入すると、 $a_1=\frac{1}{6}(2-3+1+6)=1$ となるから、 $n=1$ のときも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=\frac{1}{6}(n+1)(2n^2-5n+6)$

(3) $a_{n+1}=a_n+5^n$ から $a_{n+1}-a_n=5^n$
 よって、数列 $\{a_n\}$ の階差数列の一般項は 5^n である。

n≥2 のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} 5^k = 4 + \frac{5(5^{n-1}-1)}{5-1} \\ &= \frac{16+5 \cdot 5^{n-1}-5}{4} = \frac{5^n+11}{4} \end{aligned}$$

この式に $n=1$ を代入すると、 $a_1=\frac{5^1+11}{4}=4$ となるから、 $n=1$ のときも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=\frac{5^n+11}{4}$

3. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=10, a_{n+1}=a_n-8$ (2) $a_1=1, a_{n+1}=a_n+\left(\frac{1}{2}\right)^n$
 (3) $a_1=2, a_{n+1}=a_n+2n+2n^2$

解答 (1) $a_n=-8n+18$ (2) $a_n=2-\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$ (3) $a_n=\frac{2}{3}(n^3-n+3)$

解説

(1) 数列 $\{a_n\}$ は、初項10、公差-8の等差数列である。

よって、求める一般項は $a_n=10+(n-1) \cdot (-8)=-8n+18$

(2) $a_{n+1}=a_n+\left(\frac{1}{2}\right)^n$ から $a_{n+1}-a_n=\left(\frac{1}{2}\right)^n$

よって、数列 $\{a_n\}$ の階差数列の一般項は $\left(\frac{1}{2}\right)^n$ である。

$$n \geq 2 \text{ のとき } a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} \left(\frac{1}{2}\right)^k = 1 + \frac{\frac{1}{2} \left[1 - \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}\right]}{1 - \frac{1}{2}} = 2 - \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$$

この式に $n=1$ を代入すると、 $a_1=2-\left(\frac{1}{2}\right)^{1-1}=1$ となるから、 $n=1$ のときも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=2-\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

(3) $a_{n+1}=a_n+2n+2n^2$ から $a_{n+1}-a_n=2n+2n^2$

よって、数列 $\{a_n\}$ の階差数列の一般項は $2n+2n^2$ である。

n≥2 のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (2k+2k^2) = 2 + 2 \sum_{k=1}^{n-1} k^2 + 2 \sum_{k=1}^{n-1} k \\ &= 2 + 2 \cdot \frac{1}{6} (n-1)n(2n-1) + 2 \cdot \frac{1}{2} (n-1)n \\ &= \frac{2}{3} (n^3 - n + 3) \end{aligned}$$

この式に $n=1$ を代入すると、 $a_1=\frac{2}{3}(1^3-1+3)=2$ となるから、 $n=1$ のときも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n=\frac{2}{3}(n^3-n+3)$

4. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=1, a_{n+1}=2a_n-3$ (2) $a_1=1, 2a_{n+1}-a_n+2=0$

解答 (1) $a_n=-2^n+3$ (2) $a_n=3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}-2$

解説

(1) $a_{n+1}=2a_n-3$ を変形すると

$$a_{n+1}-3=2(a_n-3)$$

ここで、 $a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=2b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比2の等比数列で、その初項は

$$b_1=a_1-3=1-3=-2$$

ゆえに、数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-2 \cdot 2^{n-1}=-2^n$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は

$$a_n=b_n+3=-2^n+3$$

(2) $2a_{n+1}-a_n+2=0$ すなわち $a_{n+1}=\frac{1}{2}a_n-1$ を変形すると

$$a_{n+1}+2=\frac{1}{2}(a_n+2)$$

ここで、 $a_n+2=b_n$ とおくと $b_{n+1}=\frac{1}{2}b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 $\frac{1}{2}$ の等比数列で、その初項は

$$b_1=a_1+2=1+2=3$$

ゆえに、数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は

$$a_n=b_n-2=3 \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}-2$$

別解 (1) $a_{n+1}=2a_n-3$ ①

①において、 n の代わりに $n+1$ とおくと

$$a_{n+2}=2a_{n+1}-3$$
 ②

②-①から $a_{n+2}-a_{n+1}=2(a_{n+1}-a_n)$

よって、数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると $b_{n+1}=2b_n$

ゆえに、数列 $\{b_n\}$ は公比2の等比数列で、初項は

$$b_1=a_2-a_1=(2a_1-3)-a_1=a_1-3=1-3=-2$$

よって、数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=(-2) \cdot 2^{n-1}$

したがって、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = 1 + \sum_{k=1}^{n-1} (-2) \cdot 2^{k-1} \\ &= 1 + \frac{(-2) \cdot (2^{n-1}-1)}{2-1} = -2^n + 3 \end{aligned}$$

この式に $n=1$ を代入すると、 $a_1=-2^1+3=1$ となるから、 $n=1$ のときも成り立つ。

したがって、

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は $a_n=-2^n+3$

(2) $2a_{n+1}-a_n+2=0$ ①

①において、 n の代わりに $n+1$ とおくと

$$2a_{n+2}-a_{n+1}+2=0$$
 ②

②-①から $2(a_{n+2}-a_{n+1})-(a_{n+1}-a_n)=0$
 よって、数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると $2b_{n+1}-b_n=0$
 ゆえに $b_{n+1}=\frac{1}{2}b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 $\frac{1}{2}$ の等比数列で、初項は

$$b_1=a_2-a_1=\left(\frac{1}{2}a_1-1\right)-a_1=-\frac{1}{2}a_1-1=-\frac{1}{2}\cdot 1-1=-\frac{3}{2}$$

ゆえに、数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-\frac{3}{2}\cdot\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}$

したがって、 $n \geq 2$ のとき

$$\begin{aligned} a_n &= a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k = 1 + \sum_{k=1}^{n-1} \left(-\frac{3}{2}\right) \cdot \left(\frac{1}{2}\right)^{k-1} \\ &= 1 + \frac{\left(-\frac{3}{2}\right) \cdot \left[1 - \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}\right]}{1 - \frac{1}{2}} \\ &= 1 - 3\left[1 - \left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}\right] = 3\cdot\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1} - 2 \end{aligned}$$

この式に $n=1$ を代入すると、 $a_1=3\cdot\left(\frac{1}{2}\right)^{1-1}-2=1$ となるから、 $n=1$ のときも成り立つ。

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は $a_n=3\cdot\left(\frac{1}{2}\right)^{n-1}-2$

5. 次の条件によって定まる数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ。

- (1) $a_1=5$, $a_{n+1}=3a_n-4$ (2) $a_1=2$, $a_{n+1}=9-2a_n$
 (3) $a_1=1$, $a_{n+1}=\frac{1}{3}a_n+2$ (4) $a_1=1$, $a_{n+1}=4a_n+1$

- 解答** (1) $a_n=3^n+2$ (2) $a_n=-(-2)^{n-1}+3$ (3) $a_n=-2\cdot\left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$
 (4) $a_n=\frac{1}{3}(4^n-1)$

解説

(1) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-2=3(a_n-2)$

$a_n-2=b_n$ とおくと $b_{n+1}=3b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 3 の等比数列で、初項は

$$b_1=a_1-2=5-2=3$$

数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=3\cdot 3^{n-1}=3^n$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n+2$ より $a_n=3^n+2$

(2) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=-2(a_n-3)$

$a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=-2b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 -2 の等比数列で、初項は

$$b_1=a_1-3=2-3=-1$$

数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-1\cdot(-2)^{n-1}=-(-2)^{n-1}$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n+3$ より $a_n=-(-2)^{n-1}+3$

(3) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=\frac{1}{3}(a_n-3)$

$a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=\frac{1}{3}b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 $\frac{1}{3}$ の等比数列で、初項は

$$b_1=a_1-3=1-3=-2$$

数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-2\cdot\left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n+3$ より $a_n=-2\cdot\left(\frac{1}{3}\right)^{n-1}+3$

(4) 漸化式を変形すると $a_{n+1}+\frac{1}{3}=4\left(a_n+\frac{1}{3}\right)$

$a_n+\frac{1}{3}=b_n$ とおくと $b_{n+1}=4b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 4 の等比数列で、初項は

$$b_1=a_1+\frac{1}{3}=1+\frac{1}{3}=\frac{4}{3}$$

数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=\frac{4}{3}\cdot 4^{n-1}=\frac{1}{3}\cdot 4^n$

したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n-\frac{1}{3}$ より $a_n=\frac{1}{3}(4^n-1)$

6. $a_1=-1$, $a_{n+1}=-3a_n+8$ によって定まる数列 $\{a_n\}$ について

- (1) 一般項 a_n を n の式で表せ。 (2) $\sum_{k=1}^n a_k$ を求めよ。

解答 (1) $a_n=2+(-3)^n$ (2) $\frac{8n-3-(-3)^{n+1}}{4}$

解説

(1) $a_{n+1}=-3a_n+8$ を変形すると $a_{n+1}-2=-3(a_n-2)$

ここで、 $a_n-2=b_n$ とおくと $b_{n+1}=-3b_n$

よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 -3 の等比数列で、その初項は

$$b_1=a_1-2=-1-2=-3$$

ゆえに、数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-3\cdot(-3)^{n-1}=(-3)^n$

よって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は $a_n=2+b_n=2+(-3)^n$

$$\begin{aligned} (2) \quad \sum_{k=1}^n a_k &= \sum_{k=1}^n [2+(-3)^k] = \sum_{k=1}^n 2 + \sum_{k=1}^n (-3)\cdot(-3)^{k-1} \\ &= 2n + \frac{(-3)\cdot[1-(-3)^n]}{1-(-3)} \\ &= \frac{8n-3-(-3)^{n+1}}{4} \end{aligned}$$

- 解説**
- (1) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-2=3(a_n-2)$
 $a_n-2=b_n$ とおくと $b_{n+1}=3b_n$
 よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 3 の等比数列で、初項は
 $b_1=a_1-2=5-2=3$
 数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=3\cdot 3^{n-1}=3^n$
 したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n+2$ より $a_n=3^n+2$
- (2) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=-2(a_n-3)$
 $a_n-3=b_n$ とおくと $b_{n+1}=-2b_n$
 よって、数列 $\{b_n\}$ は公比 -2 の等比数列で、初項は
 $b_1=a_1-3=2-3=-1$
 数列 $\{b_n\}$ の一般項は $b_n=-1\cdot(-2)^{n-1}=-(-2)^{n-1}$
 したがって、数列 $\{a_n\}$ の一般項は、 $a_n=b_n+3$ より $a_n=-(-2)^{n-1}+3$
- (3) 漸化式を変形すると $a_{n+1}-3=\frac{1}{3}(a_n-3)$